

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	2018年												2019年								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月 ~7日	7月 ~14日	7月 ~21日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	56	46	78	65	87	128	22	0 (24)	0
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	85	81	77	69	51	59	20	6	7
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	5	3	11	6	3	11	1	2	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	10	9	12	13	14	24	3	2 (4)	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	22	16	22	14	11	12	3	1	4
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	1	0	0	3	0	0	1
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	2	3	2	9	4	5	0	0	0
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	3	1	0	1
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	23	23	11	11	2	5	0	0	0

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

*その他の1件は、アエロモナスでした。

広島県感染症発生動向週報

令和元年第29週(7月15日~7月21日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	3	結核	3					3		
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2							2
四類	3	E型肝炎	1			1				
		A型肝炎	1							1
		重症熱性血小板減少症候群	1							
五類全数	7	アメーバ赤痢	1	1						
		侵襲性肺炎球菌感染症	2					2		
		百日咳	4	1		1	1	1		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第29週 7/15～7/21)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 手足口病

定点当たり9.70人と、前週と比べてやや減少しましたが、多い状況が続いています。

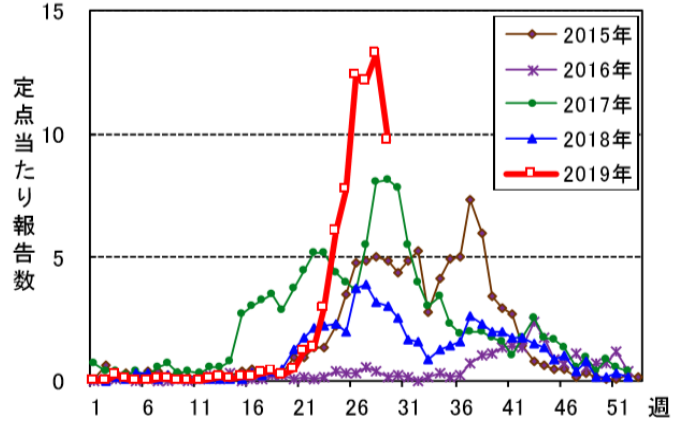
手足口病は、口の中や手足などに水疱性の発しんが出るウイルス性の感染症で、乳幼児を中心に主に夏に流行します。ほとんどは数日のうちに治りますが、まれに髄膜炎や脳炎などの合併症を引き起こすことがあるため、注意が必要です。

手洗いの励行、排泄物の適切な処理、タオルの共用は避けるなど、感染予防対策を徹底しましょう。

【参考】厚生労働省「手足口病に関するQ&A」

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>

手足口病の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
ファイルン	インフルエンザ	-	-	0.02		小児科	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.73	
小児科	咽頭結膜熱	18	0.78	0.66		眼科	RSウイルス感染症	8	0.35	0.39	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	46	2.00	2.14			急性出血性結膜炎	-	-	0.10	
	感染性胃腸炎	86	3.74	4.31			流行性角結膜炎	7	0.88	0.98	
	水痘	7	0.30	0.44		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	223	9.70	3.34			無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	5	0.22	0.17			マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.29	
	突発性発しん	6	0.26	0.32			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	37	1.61	2.38			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	97	男性(40歳代)、女性(80歳代)、女性(90歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	2	23	男性(10歳未満)、女性(40歳代)
5	百日咳	1	31	女性(40歳代)

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	発熱(37.0) 発疹 上気道炎 気管支炎 肝機能障害 結膜炎 リンパ節腫脹	5	女	2019/05/24	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型
その他の呼吸器疾患	発熱(40.7) 上気道炎	1	女	2019/05/31	鼻汁	ライノウイルス アデノウイルス1型
その他の疾患	発熱 紅斑 結膜炎 リンパ節腫脹	1	男	2019/06/10	咽頭拭い液	アデノウイルス2型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載